

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 金沢市立杜の里小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒920-1165

石川県金沢市若松3丁目282番地

E-mail morinosato-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/morinosato-e/

幼児児童生徒数 男子 271 名 女子 220 名 合計 491 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

### (1) 活動の概要

本校は、生活科総合的な学習に関して「自ら 関わり つながる 杜の里 ～感じて、考えて、伝え合おう～」を学校理念として、ESD を「考える活動を通して、関わりやつながりの大切さに気づかせる教育」と捉え、ESD の実践を通して、思考力とコミュニケーション力の育成を目標とした。

1, 2年生は「身近な自然」、3, 5年生は「里山」、4, 6年生は地元の都市である「金沢」に関して、体験活動、調べ学習をし、その成果の発表を行った。

#### ① 1年生「自然となかよしプロジェクト ～楽しもう 自然 昔遊び～」

種から育てた朝顔の花を使って、夏には押し花をしたり、秋には、蔓のリース、どんぐりや松ぼっくりでおもちゃを作ったり、季節と関わりの深い遊びを楽しむことができた。

#### ② 2年生「自然と学ぶプロジェクト ～楽しもう 栽培 収穫～」

運動場横の畑や自分の植木で、ミニトマト、キュウリ、ナス、ピーマンなど、たくさんの野菜を育てて収穫した。自分たちで栽培、収穫をすることで、植物を育てることの大切さや収穫することの楽しさを感じることができた。

③ 3年生「町探検プロジェクト ～杜の里探検隊 出発！～」

「NP0 金沢杜の里」の方にホタルについて説明を聞き、ホタルの幼虫の飼育・放流をした。ホタルは環境の変化に弱いこと、成虫になるまで長い時間がかかることを学ぶことで、生き物と地域の自然を大切にしようとする態度を育てることができた。

④ 4年生「町探検プロジェクト ～金沢の偉人や伝統文化を調べよう～」

金沢の発展に貢献した偉人を調べたり、金箔貼り体験や水引体験など金沢の伝統文化に触れたりすることで、その金沢の良さに気づき、地域に残るものを大切に、それらを未来に残し伝えていこうとする態度を育てることができた。

⑤ 5年生「里山保全プロジェクト ～自然豊かな里山を目指して～」

「奥卯辰山健民公園管理事務所」の方と一緒に、米作りを行った。田植えや稲刈りを体験して、お米を収穫することで農業の良さを感じることができた。里山が抱える問題に対しても、自分たちができることを考えた。農業と里山の保全の大切さに気づくことができた。

⑥ 「自分創造プロジェクト ～伝えよう！金沢の魅力～」

金沢をグループ毎に見学し、歴史や伝統文化の深さを知ることで、それらが観光業の発展に大きく関わっていることを知ることができた。金沢の魅力に数多く触れることで、金沢に生まれ育ったことに誇りを感じることもできた。



①季節のおもちゃで遊ぶ1年生



②支柱を付ける2年生



③育てたホタルの幼虫を放流する3年生



④偉人について調べる4年生



⑤田植えをする5年生



⑥北陸新幹線を見学する6年生

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では「つながり」「思考力」を大切にできる子どもを育てるという基本的な考え方（杜の里 ESD）のもと、身近な自然、里山、金沢…と関わる中で自分を含む、様々なものとのつながりを感じて、考えて伝えていく実践に取り組んでいる。

生活科や総合的な学習の時間を中心に、1、2年生は身近な自然、3、5年生は里山、4、6年生は金沢を舞台に体験や見学、発表会を行っている。

今年度は「杜の里 ESD」を意識した実践及び「杜の里 ESD カレンダー」の作成、地域や他校とのネットワーク作りを重点目標として取り組んできた。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度当初の職員会議にて、本校で大切にすることは「関わり」「つながり」「思考力」であることを確認した。合わせて3～6年生の総合的な学習のどの内容が、他教科どの内容とつながっているかを示した「杜の里 ESD カレンダー」を配布し、教科をつないで柔軟な指導をしていくことを共有した。11月には各学年の学習の成果に関する発表を見合う「もりもり学習発表会」を位置づけた。保護者・学習に協力していただいた地域の方々にも参観していただき、発表対象を明確にして、意欲を高めた。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

「つながり」において、児童と物事、また児童と人とのつながりが深めることができた。「思考力」についても、自分の学んだことを他に発信するにあたって、全校一斉に学習発表会を開催して、どうすれば学んだことを適切に伝える方法を思案することで、思考力を高めることができた。

また、小中一貫校とのネットワーク作りにも取り組み、掲示物を交換して展示し合うことで、考えの多様性に気づくことができた。

来年度は、外国籍児童が多いという本校の特色を生かし、異国文化を理解するといった外国との「つながり」を深めるカリキュラムを考えるなど、グローバルな学びができるように検討するとともに、小中一貫校との掲示物を他学年に広げるなど交流をさらに活発化させていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

「もりもり学習発表会」で、保護者と学習に協力してくれた地域の方々を招き、学習の成果と児童の成長を見ていただいた。保護者からは「子どもたちの頑張りや成長を見ることができてよかった。」、地域の方からは「自分たちが力を入れていることに精一杯取り組んで、その良さを分かってくれたことが嬉しい。」との声をいただいた。発表の場に多くの人に入っていたことで、今年度大切にしていた「つながり」「関わり」を、児童と保護者・地域の間で深めることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

3年生は「NPO 金沢杜の里」の方にホテルについての説明とエサのやり方や水のかえ方などの指導をしていただき、飼育も児童と共にしていただいた。4年生は「金沢仏壇」の方に金箔の歴史や作られ方の説明をしていただき、実際に箸に金箔を貼る体験のお世話をしていただいた。5年生は「奥卯辰山健民公園管理事務所」の方と一緒に、田植えや稲刈りなど米作り体験して、農業の良さや自然を守ることの大切さを教えていただいた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

同じ中学校校区の小中学校である、田上小学校、兼六小学校、兼六中学校と共に小中一貫で総合的な学習に取り組むために話し合いの場を設けた。第1回目は各校の取り組みを紹介し合い、第2回目に4校間の交流の仕方を決め、第3回目に今年度の成果と課題を共有した。

第2回目では、それぞれの成果物を4校の間で展示し合うことになった。児童たちは他の小学校の成果物から多様性に気づき、中学校の成果物から、レベルの高いまとめ方、考え方を知ることができた。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

11月に全校で行う「もりもり学習発表会」は、全校で行っているが、上の学年の発表を見ることで児童たちが来年度の学習の見通しや目指すべき姿を明確に持つことができる。

また、発表会には保護者や協力いただいた地域の方を招いている。保護者に来ていただくことで児童の意欲が高まるだけでなく、保護者とのより良い協力体制を作ることに役立っている。地域の方に来ていただくことで、地域とのつながりをさらに深めることもできている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

本校は学年で系統性を大切にするため、平成30年度も(1)にあるものと同じような活動を行っていく。その中で、今年度課題として挙げられた部分を改善していくことを目指す。

まず、児童の実態に合った学習内容の検討である。例えば、本校は外国籍の児童が数多く在籍し、国籍に関係なく仲良く遊ぶ姿が見られる。しかし、その国の文化、習慣などは知らない児童が多い。高学年は社会科で他の国についての学習をすることから、それらに合わせて外国文化を理解する活動を行えるのではないかと考える。他の学校と比べて、外国籍の児童が身近にいるので、内容をより深く理解することができるのではないだろうか。

小中一貫の交流は、今年度1学年だけの成果物だけに留まったが、より多くの学年を巻き込んで行うことで、より多くの考えやまとめ方を知る機会を作ることになり、より良い交流にしていけるのではないかと考える。

この二つのことについて改善を図り、平成30年度も、児童の学習を身のものにしていきたい。